



お米の生産技術向上で快挙！ 飼料用米多収日本一コンテストで受賞

令和3年度飼料用米多収日本一コンテストで、市内の水稲生産者である直井清さんが関東農政局長賞を受賞し、4月21日に土浦合同庁舎で表彰式が執り行われました。直井さんは「夢あおば」という、ほかの品種よりも早く実り、風などにも倒れにくい飼料用米で受賞。県南地域の10aあたりの平均収量が543kgのところ、大きく超える723kgという素晴らしい収量を得ました。直井さんは「息子から飼料用米を作ってみよう」と提案されたことがきっかけで作付けを行った。育苗や追肥、水の管理を徹底したことが結果に繋がったと思う。これからも飼料用米を息子と一緒に作付けしていきたい」と話してくれました。

採れたてトマトをパクリ！ トマトの収穫体験を開催しました

市内のトマト農家で5月7日、市の特産品の1つであるトマトの収穫体験が行われました。会場となったハウスには、それぞれ形や味が異なる5種類のトマトがたくさん実っており、ハウス内にはトマトの新鮮な香りが漂っていました。当日は家族連れや友人同士など、多くの方が参加し、新鮮なトマトの味を楽しんでいました。参加者からは「みずみずしくてとても甘くておいしかった」「子どもも私もトマトが大好きなので、自分で収穫する体験ができて嬉しかったです」「持ち帰ったトマトは、色んな料理に使って食べたいと思います」などの感想が聞かれました。



限界の先で手にした栄光 市内在住の高校生が極真空手の全国大会で優勝

4月16日、東京体育館にて、極真空手の一般男子、女子以外の全国大会となる「+日本赤十字社 災害義援金チャリティー 2022 極真祭」が開催され、市内在住のおうちひりゅう大内陽竜さんが16歳17歳男子 - 60kg級の部で優勝しました。大会を終え、大内さんは「昨年の東日本大会で優勝できたので、全国大会では絶対優勝するという気持ちで挑みました。稽古では、試合後半の技数とスピードを上げるスタミナをつけるため、自分の限界を決めず、ひたすら極限まで追い込むことを心がけていました。6月に一般男子の全日本体重別空手道選手権大会があるので、引き続き自分の限界に挑戦し続けたいと思います」と今後の意気込みを語りました。

サロンパスカップが開催されました！

一般社団法人日本女子プロゴルフ協会（JLPGA）と日本テレビ放送網株式が主催し、本市などが後援する「ワールドレディスチャンピオンシップ サロンパスカップ」が、5月5日から8日までの4日間、市内の茨城ゴルフ倶楽部で開催されました。3年ぶりの有観客となった今年のサロンパスカップは、女子プロによる大会のほか、さまざまなイベントが催されました。



スナッグゴルフで触れ合う心 十和小と谷原小の児童達がスナッグゴルフ交流

来年4月の統合を予定している十和小学校と谷原小学校の児童たちによる、ゴルフをもっと簡単に、親しみやすくした「スナッグゴルフ」を通じた交流イベントが5月6日、開催されました。児童たちは、JLPGA ジュニアゴルフコーチの方々による指導のもと、クラブの持ち方や振り方、アプローチのコツなどを学びました。最初は少しぎこちなかった児童たちも、徐々に狙った場所にボールを打てるようになっていました。また、各小学校の混合チーム同士による対抗試合では、児童たちが積極的にコミュニケーションを取りながら試合を進めており、笑顔が溢れる交流イベントとなりました。

宮里藍さんから直接アドバイス！ 宮里藍さん×伊奈東中ゴルフ部のトークイベント

ジュニア育成に力を入れているプロゴルファーの宮里藍さんみやざとあい協力のもと、昨年新設された市立伊奈東中学校ゴルフ部所属の生徒との交流トークイベントが5月7日、開催されました。イベントでは、宮里さんから生徒たちに向け、ゴルフへの取り組み方や練習方法などについて、様々なアドバイスがありました。トークイベントを終え、宮里さんは「ゴルフを楽しむことが一番なので、その気持ちを大切に、ぜひ部活を楽しんでもらいたいです。中学時代はいろんな伸びしろがある時なので、ゴルフがグッと上手くなる子もいるんじゃないかと期待しています」とコメントしました。



熱戦を制し掴んだ勝利！ 山下美夢有選手が完全優勝！

合計120人の選手が熱い戦いを繰り広げたサロンパスカップの最終ラウンドが8日開催され、初日からトップを守り続けた20歳の山下美夢有選手やましたみゆうが通算12アンダーで完全優勝を果たしました。優勝した山下選手には、優勝賞金2,400万円のほか、市から副賞として市産コシヒカリ1年分を贈呈しました。また、大会期間中のチャリティイベントで集まったチャリティ金も、つくばみらい市へ寄付されました。



山下選手[㊦]に市産コシヒカリ1年分を贈呈する小田川市長[㊦]



JLPGAの小林会長[㊦]から目録を受け取る小田川市長[㊦]